

横浜都市農業推進プラン 2024-2028(概要版)

● 横浜都市農業推進プランについて

「横浜都市農業推進プラン」は、活力ある都市農業が展開されることを目標として具体的な農政事業を定めた5か年の計画です。

このたび、令和5年度（2023年度）に現行プランが終了するため、その成果や、横浜の農業が抱える課題、近年の社会情勢の変化等を踏まえ、概ね10年後の横浜の都市農業を展望しつつ、令和6年度（2024年度）～令和10年度（2028年度）に進める具体的な取組を「横浜都市農業推進プラン2024-2028」として取りまとめました。

● 基本理念：「活力ある都市農業を未来へ」

● おおむね10年後の目標

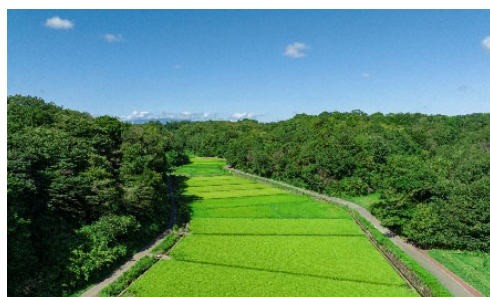
目標1：市内の各農業地域の特性を十分に生かし、新たな技術を積極的に取り入れ、新規就農者も含め意欲ある農家により元気な横浜の農業が展開されています。

目標2：良好な農景観の形成や生物多様性の保全にも寄与する、まとまりのある優良な農地が形成されています。

目標3：市民が農に関わる機会が市内全域で増えるとともに、地産地消が進んでいます。



新規就農者も含めた多様な担い手による横浜の農業の展開



良好な農景観・まとまりのある優良な農地の形成



子育て世代をはじめとした多くの市民の農体験・地産地消

● 計画の柱

計画の柱1 持続できる都市農業を推進する

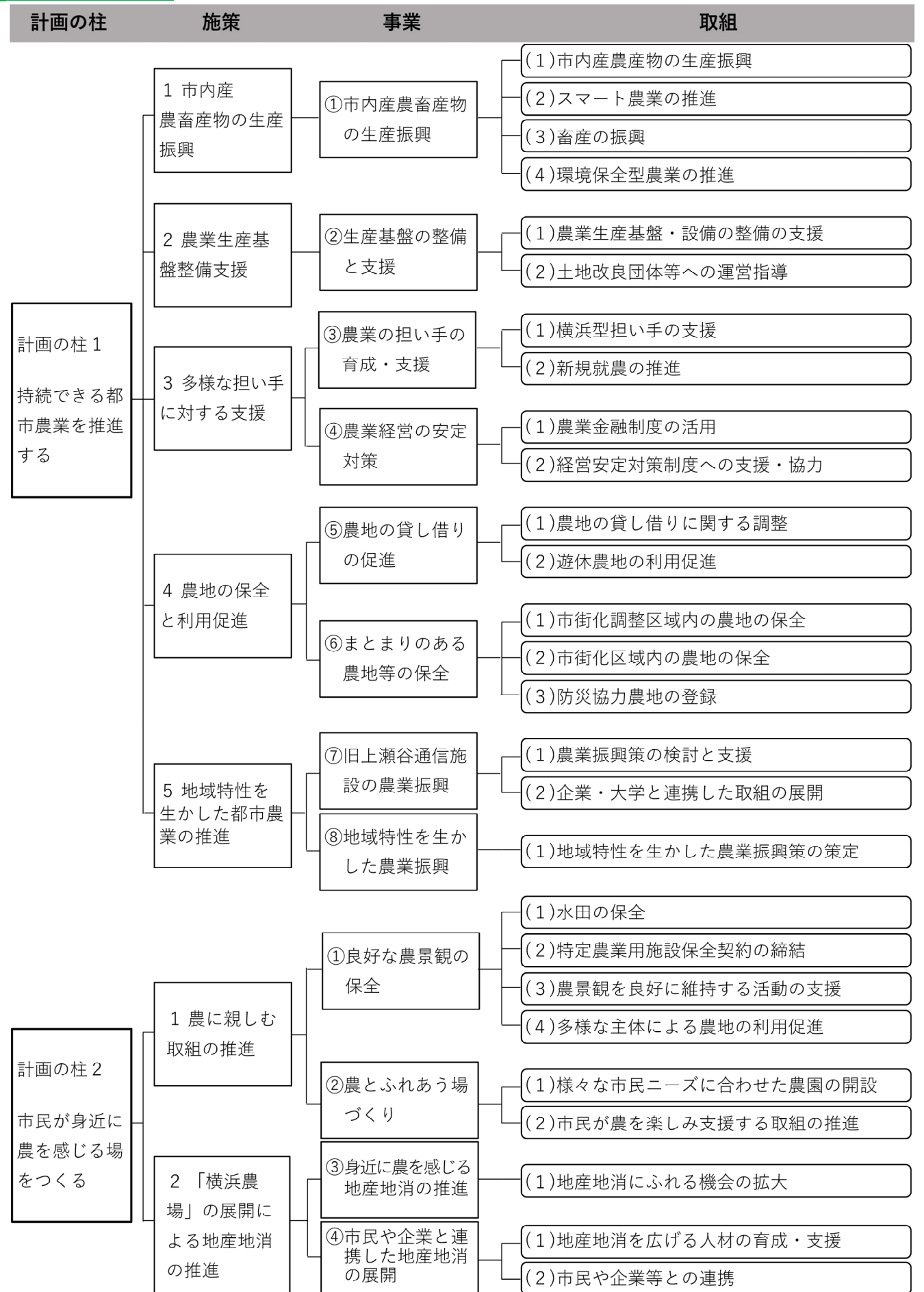
農業生産基盤整備の支援や生産振興を図るとともに、多様な担い手の確保や支援により、将来にわたり持続可能な都市農業を推進する取組を展開します。

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での役割や機能に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。





※ 計画の柱2については「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」と整合を図っています。

● 施策体系





● 施策の主な内容

計画の柱1 持続できる都市農業を推進する

取組一覧	施策1 市内産農畜産物の生産振興 事業① 市内産農畜産物の生産振興 <ul style="list-style-type: none"> 生産者団体が共同で使用する農業用機械等の導入を支援 循環型社会の形成のため、市内で発生する下水汚泥からリンを回収し、肥料としての利用を推進 ICTやロボット技術などを利用したスマート農業技術の導入を支援 	 <p>ICTを利用した環境のデータ測定</p>
	施策2 農業生産基盤整備支援 事業② 生産基盤の整備と支援 <ul style="list-style-type: none"> 農業生産の基盤である農地、畑地かんがい施設、暗きょ排水施設等の整備を支援 	
	施策3 多様な担い手に対する支援 事業③ 農業の担い手の育成・支援 <ul style="list-style-type: none"> 農業後継者の就農、農業以外の他産業からの個人・法人の参入などを支援 認定農業者等、意欲的に農業に取り組む担い手を認定し、横浜型担い手として支援 農福連携を推進 	 <p>新規参入者への農業用機械導入支援</p>
	事業④ 農業経営の安定対策 <ul style="list-style-type: none"> 農業経営に必要な資金の融資や、国・県の制度による融資に伴う利子補給等により、借入農家の負担を軽減 	
	施策4 農地の保全と利用促進 事業⑤ 農地の貸し借りの促進 <ul style="list-style-type: none"> 規模拡大を希望する農家や、新規参入した個人・法人等への農地の貸し借りを推進 	 <p>生産緑地地区</p>
	事業⑥ まとまりのある農地等の保全 <ul style="list-style-type: none"> 農業振興地域や生産緑地地区等の農業生産の基盤となる農地を保全 	
	施策5 地域特性を生かした都市農業の推進 事業⑦ 旧上瀬谷通信施設の農業振興 <ul style="list-style-type: none"> 換地により農地を集約するとともに、畑地かんがい施設等の農業生産基盤の整備を推進 GREEN×EXPO 2027を契機とした最新の技術を活用した農業の活性化 企業や大学等と連携することで、市内各地で活躍できる、新規就農者等や地域農業の核となる人材の育成 横浜に適したスマート農業技術等の研究・実証等のほか、SDGsの達成にも貢献する農業の取組の検討を推進 	 <p>生産緑地地区</p>
	事業⑧ 地域特性を生かした農業振興 <ul style="list-style-type: none"> 営農状況や周辺環境等、地域の特性を生かした農業振興策を策定 	

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

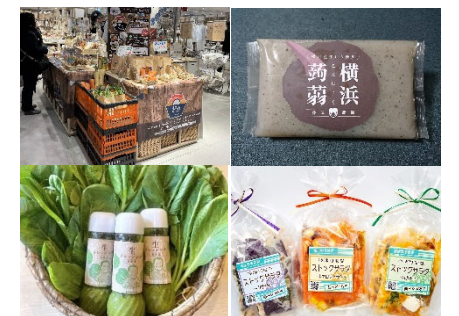
取組一覧	施策1 農に親しむ取組の推進 事業① 良好な農景観の保全 <ul style="list-style-type: none"> 水田景観の保全や多様な機能が発揮できるよう、水稻作付を奨励するとともに、保全された水田の維持管理に対する支援を実施 農地縁辺部への植栽や土砂流出防止対策など、農景観を良好に維持する活動を支援 多様な主体へ農地を貸し付けられるよう、遊休化した農地の復元を支援 	 <p>保全された水田</p>
	事業② 農とふれあう場づくり <ul style="list-style-type: none"> 収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園を開設 子育て世代をはじめとした多くの市民が農を楽しむ取組として横浜ふるさと村や恵みの里等で農体験教室などを実施 市内全域で農体験に関する様々な相談に応じるため、専門知識やスキルを有するコーディネーターを派遣 	
	施策2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進 事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> 直売所や加工所に必要な設備の導入や、青空市・マルシェの開催等を支援 「横浜農場」を活用した市内産農畜産物のブランド化に向けたプロモーションを強化 	 <p>田奈恵みの里の体験水田</p>
	事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開 <ul style="list-style-type: none"> 地産地消を広げる人材（はまふうどコンシェルジュ）やよこはま地産地消サポート店の活動支援 生産者と企業等とのマッチングなどにより、連携を推進 学校給食での市内産農産物の一斉供給や、小学生を対象とした料理コンクールを開催 	



青空市・マルシェ等の開催



横浜農場ロゴマーク



地産地消ビジネス創出支援事業で支援した取組

※ 横浜農場とは…食や農に関わる多様な人々、農畜産物、農景観など横浜らしい農業全体を一つの農場に見立てた言葉。横浜市では、この「横浜農場」を使い、農業のPRを進めています。

横浜都市農業推進プラン 2024-2028 の冊子は、
 ホームページでもご覧になれます。
 ホームページは「横浜 農業 プラン」で検索



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/nochi/nougyou/nougyouisuishinplan.html>

問合せ先 横浜市みどり環境局農政推進課農政推進担当 電話：045-671-2630 FAX：045-664-4425
 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10（23階）